



NiCE

Active IQ Unified Manager での SAML 認証の設定

https://kb-ja.netapp.com/data-mgmt/AIQUM/AIQUM_Kbs/Configuring_SAML_authentication_in_AIQUM

Updated: Thu, 07 May 2026 09:54:29 GMT

環境

- Active IQ Unified Manager (AIQUM)
- Security Assertion Markup Language (SAML)

概要

- **Active IQ Unified Manager**での**SAML**認証の設定
- 以下のSAML設定は、Active IQ Unified Manager 9.8およびADFS (IDP) サーバーで実行されます。

。注記：「part 1」に記載されているすべての前提条件が完了していることを確認してください。

1. Active IQ Unified ManagerのWebUIにログインします。

2. 全般 -> **SAML** 認証に移動します

3. **SAML** 認証を有効にする

4. IDP URLを入力し、**Fetch Idp Metadata**をクリックします

。前提条件に関するナレッジベースの最後の箇条書きからIDPのURLを取得しました [AIQUMでSAML認証を有効にするための前提条件](#)。

5. 正しいUMサーバー名を指している「Host URL」を確認してください

6. **Copy host Metadata** をクリックし、`um_host_metadata.xml`というファイルを作成します

7. このファイル`um_host_metadata.xml` をIDP (ADFS) サーバーに移動します

。注記：「step 8」が完了するまで「save」をクリックしないでください

8. 高レベルのIDPサーバー構成

。注記：NetAppサポートはIDPサーバーの設定を担当していません

。"um_host_metedata.xml"を"relying party trust"にインポートします

。すべてのユーザーがrelying partyにアクセスできるようにし、デフォルト設定を選択します

。クレームルールの編集

- ルールを追加する

- 「LDAP属性をクレームとして送信する」を選択します。

- クレームルールについては、上記の「パート1 - 前提条件」を参照してください

- クレームルール名「ルール1」

- 属性ストア：Active Directory

- Ldap属性：SAM-Account-Name：名前ID

- 完了

。スクリーンショットに示されているように、次の2つのルールを追加するには、手順をもう一度繰り返します

9.Active IQ Unified Managerページに戻り、**Save** をクリックし、次に**Confirm and Logout**をクリックします。

Warning



Ensure that the host URI or metadata information is configured on the IdP.

After you click the 'Confirm and Logout' button, Management Server restarts.

After it restarts, if you cannot log in by using the SAML authentication, ensure that the IdP is accessible, or reset the SAML authentication configuration from the Management Server maintenance console, or contact your system administrator.

I have configured the IdP with the host URI or metadata.

Cancel

Confirm and Logout

10. すべてが正常に動作すれば、Active IQ Unified Manager は ADFS シングルサインオン画面にリダイレクトされます。

注記： SAML 認証のセットアップが正常に完了した後、UM サービスが再起動されるため、サービスが正常に再起動するまでお待ちください。

11. リモートユーザー名とパスワードを使用して、"**sAMAccountName**" (ドメイン\ユーザー名) としてログオンします。

注記：「リモート認証」の一部であった Active IQ Unified Manager で設定したリモートユーザー名またはリモートグループを覚えておいてください。

- ユーザー名は大文字と小文字を区別し、使用する認証サービスで登録されているユーザー名と一致している必要があります。

追加情報

親トピック: [Active IQ Unified Manager での SAML のセットアップとトラブルシューティング](#)